

# 記入例(航空障害灯の設置届出)

●東京湾の平均海面から物件の最頂部まで高さを記入。単位は「m(メートル)」とし、小数点第1位まで記入(小数点第2位を四捨五入)  
ただし、東京湾平均海面が適用できない地域はその地域での平均海面とする。

●地表又は水面より物件の最頂部までの高さを記入。単位は「m(メートル)」とし、小数点第1位まで記入(小数点第2位を四捨五入)

●固有No.がある場合は記入する(ない場合は、斜線か項目を削除して良い)

●物件名称を記入する。  
例：〇〇ビル ●●煙突 ××鉄塔

●複数ある場合は一連番号を記入する。

●設置位置(地上高又は水面高)を小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで記入する。

●設置灯数を記入する。

●型式を記入する。

●設置期日を記入する。仮設物件の場合は、設置期間を記入する。

●国土地理院発行の1/2万5千または1/5万の地図に物件位置を記入する。  
●空港近接物件については空港の制限表面の制限範囲を記入する。

●灯器型式、取り付け高さ、設置個数を立面図等に記入する。

大阪航空局長 殿

設置者 住所 東京都千代田区霞ヶ関2-1-3  
氏名 〇〇〇株式会社 社長 東京太郎

文書番号  
平成27年2月1日

## 航空障害灯の設置について(届出)

航空障害灯を下記のとおり設置しましたので、航空法施行規則第238条の規定によりお届けします。

記

1. 航空障害物件

物件No.	物件	固有No.	地上高m	海拔高(TP)m	所在地	位置	
						北緯	東経
1	〇〇ビル		200.0	210.0	東京都千代田区霞ヶ関2-1-3	34 50 00	130 10 20

2. 航空障害灯

物件No.	航空障害灯種類(灯器型式)	設置灯数	設置位置(地上高)m	灯器製作所名	備考(配光種類等)
1	OM-6C	4	200.0	〇〇製作所	明滅光
	OM-3C	4	147.5	〇〇製作所	不動光

3. 備考

設置期日	平成27年2月1日
管理者 役職名・住所・電話等	東京都千代田区霞ヶ関2-1-3 〇〇株式会社 管理課長 TEL 03-1234-5678
その他記事	航空法施行規則第127条第2項の規定により省略した航空障害灯は、既存物件又は既存航空障害灯が除去された場合には同規定第127条の規定により設置します。(※)
連絡先	航空法施行規則第128条第3号の規定による連絡体制 〇〇空港事務所管制保安部航空灯火・電気技術官 TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 FAX 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

4. 添付資料

(1) 航空障害物件位置図  
(2) 航空障害灯設置概略図面

(※省略された場合に記載)

●文書番号は、届出書の発簡文書番号を記入する(ない場合は不要)  
●日付は、届出時に記入する(届出日は設置後となります)

●設置者は、物件の財産管理責任者以上の者とする(押印はなくても可)

●物件の所在地を都道府県から記入する。

●世界測地系による北緯、東経とし秒単位まで記入する(秒以下は小数点第1位を四捨五入)  
●架空線の場合は、支持物件の北緯、東経を記入する。

●航空障害灯の灯器メーカーを記入する。

●航空障害灯の配光を記入する。  
(「不動光」、「明滅光」、「閃光」)

●管理者は役職名、住所、電話番号を記入する(管理者の氏名は記入しない)

●省略した航空障害灯がある場合は、その旨記載する(省略対象物件が除去された場合は航空障害灯を設置することを記載する)  
●屋間障害標識の設置をしない許可を受けている場合は、許可済みであることを記入する(許可番号を記入する)  
●空港の制限表面を突出若しくは著しく近接する物件である場合はその旨、記入する。

●連絡先は「航空障害灯/屋間障害標識の設置等に関する解説・実施要領」別添3を参照し記入する。